

第 1 1 7 回幹事会議事要旨

日 時 平成 2 3 年 3 月 1 7 日 (木) 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 (会 長) 金澤 一郎

(副会長) 鈴木興太郎、唐木 英明

(第一部) 広渡 清吾、小林 良彰、木村 茂光、山本 眞鳥

(第二部) 浅島 誠、山本 正幸、鷲谷いづみ

(第三部) 岩澤 康裕、後藤 俊夫、池田 駿介

(事務局長) 齋藤 敦

(課長等) 清水 誠、上平 春樹、廣田 英樹、石原 祐志、渡部 良一

審議事項等

- 1 前回議事要旨の確認が行われた。
- 2 以下の公開審議が行われた。
 - (1) 国際委員会運営要綱の一部改正 (廃止 2 分科会) 及び委員 (1 件)、分野別委員会運営要綱の一部改正 (新設 1 分科会、廃止 2 分科会) 及び委員 (4 件)、大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会設置要綱の一部改正 (委員会・3 分科会の設置期間の延長) が決定された。
 - (2) 報告「大学院における高度人材育成に向けてー化学系大学院を中心としてー」について、化学委員会高度人材育成と国際化に関する検討分科会新海征治委員長、福住俊一副委員長から説明があり、審議の結果、所要の修文を条件に承認された。
 - (3) 日本学術会議分野別委員会及び分科会等についての一部改正が決定された。
 - (4) 補欠の会員の選考手続についての一部改正が決定された。
 - (5) 定年により退任する佐久間健人会員 (平成 23 年 9 月定年)、柏典夫会員 (平成 23 年 9 月定年) の補欠の会員候補者を推薦する部について、推薦する部 (第三部) を決定した。
 - (6) 日本学術会議協力学術研究団体の指定 (5 件) が承認された。
 - (7) 平成 2 3 年度代表派遣実施計画及び代表派遣 (4 ~ 6 月分) が承認された。
 - (8) 国際科学会議第 104 回理事会 (ICSU 104th Meeting of Executive Board) 出席に係る会員の派遣が承認された。
 - (9) 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2011 の開催が承認された。
 - (10) 平成 2 5 年度開催国際会議の共同主催候補が承認された。
 - (11) 1 件のシンポジウム等の主催、1 件の国内会議の後援が承認された。
- 3 以下の非公開審議が行われた。
 - (1) 分野別委員会における分科会委員 (特任連携会員) (1 件)、大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会における委員会等の委員 (特任連携会員) の任期の延長 (4 件)、科学・技術を担う将来世代の育成方策検討委員会の委員 (特任連携会員) (1 件) が決定された。

- (2) 総会で承認を得るための補欠の会員の候補者を決定するとともに総会までに本人から所属部の意向を確認することが承認された。
- (3) 京都大学数理解析研究所運営委員会及び専門委員会委員候補者を推薦することが承認された。
- (4) ICSU World Data System-International Program Office に対する支援について、岩澤部長、土居範久連携会員から説明があり、了承された。
- (5) その他事項として、次のことについて報告等がなされた。
- ・総会で報告する外部評価書及び委員会・分科会審議経過報告について報告があった。
 - ・10月の総会の日程について話し合いが行われ、10月3日(月)～5日(水)に開催する方向となった。
 - ・東北関東大震災関係として、会員・連携会員の安否確認状況、東北関東大震災関連見舞状一覧、(財)日本学術協力財団を通じた義援金の寄附、3月18日に緊急集会「今、われわれにできることは何か?」が開催されることについて報告がなされるとともに、幹事会声明案「東北・関東大震災とその後の原子力発電所事故について」が議論された。
 - ・事務局長から委員手当の執行状況について報告があった。
 - ・石原参事官から Japanese Journal of Mathematics の電子ジャーナル化について、独立行政法人科学技術振興機構に回答を行ったとの報告があった。